

大河ドラマ特別展開催事業費の概要

25,868千円(文化生活部文化・国際課)

平成22年4月にリニューアルオープンする高知県立歴史民俗資料館を会場として、大河ドラマ特別展(東京・京都・高知・長崎の全国4会場を巡回)を開催することで、「土佐・龍馬であい博」の機運を盛り上げ、龍馬のみならず幕末土佐の志士たちをはじめとして高知の歴史文化を全国に発信する。

2010年NHK大河ドラマ 特別展「龍馬伝」

平成22年
7月31日(土)～8月31日(火)
高知県立歴史民俗資料館

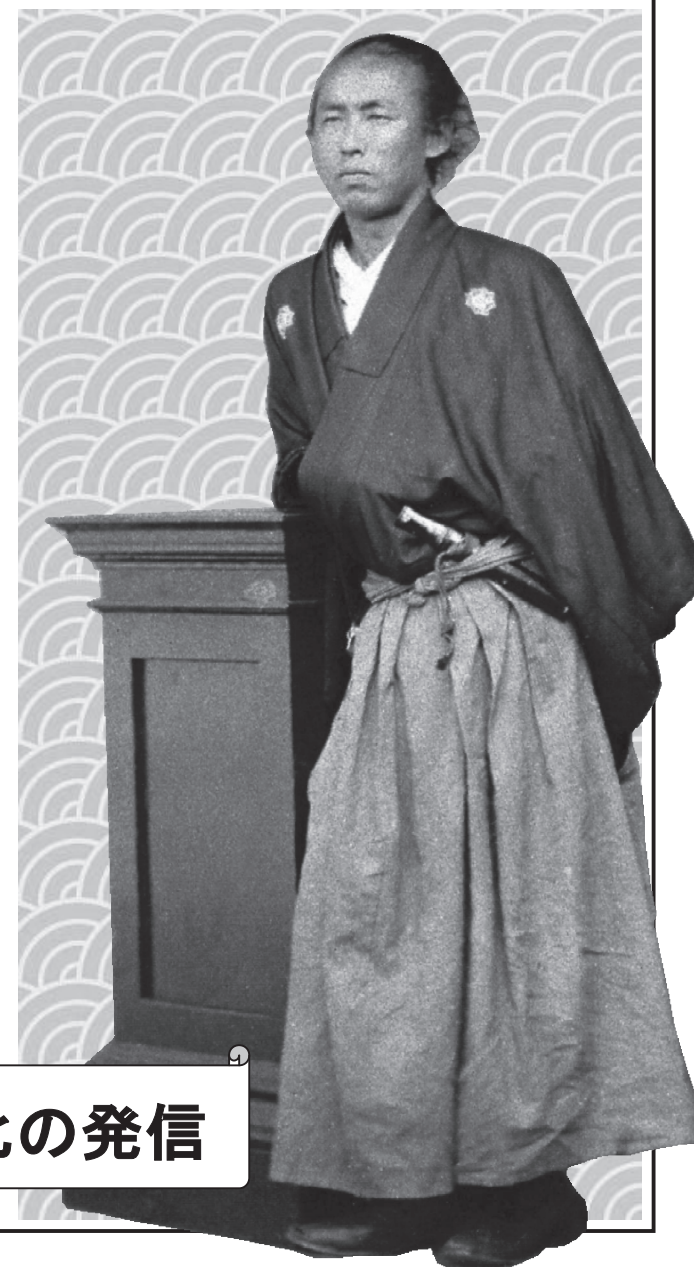
特別展を楽しんでいただく工夫

- ・学芸員による展示解説
- ・夏休み親子歴史体験教室
- ・講演会
- ・シンポジウム
- ・歴史案内冊子の発行

「龍馬伝」を契機として、県内の博物館施設が連携し、高知の歴史をテーマに様々な展覧会を開催する

展示内容

- ・プロローグ
坂本龍馬と岩崎弥太郎の人物像を紹介
- ・第1章
黒船来航前の土佐藩の政治状況や人間関係、龍馬を支えた家族愛を明らかにし、龍馬が後に平等思想を持つに至るその原点を探る。
- ・第2章
脱藩という大きな決断に到る背景とともに、人生の転機となった勝海舟との出会いを紹介。高知会場では岡田以蔵の新しい資料を紹介するとともに、その人間像に迫る。
- ・第3章
同志や家族などに宛てた手紙から龍馬の志士としての活動を紹介するとともに、彼の人的魅力に迫る。
- ・第4章
平和を希求し続けた龍馬の思想や、世界を目指して結成した海援隊の本質に迫る。



「龍馬伝」に合わせた積極的な高知の歴史・文化の発信

新資料館基本構想策定事業費の概要

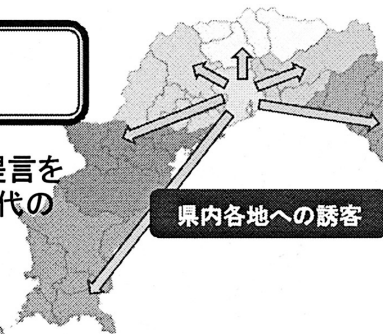
東西軸活性化プラン事業
7,963千円(文化生活部文化・国際課)

【歴史展示】と【歴史・文化情報の発信】

高知の歴史に興味を持っていただけるよう、県内の他の歴史系博物館の資料の紹介や活用も含めた展示の工夫を行い、県内各地域の博物館への誘客を図るための情報発信を行う。

新資料館整備の目的

「山内家資料の保存等検討委員会」の提言を踏まえ山内家資料を核に戦国時代～近代の高知の歴史を展示・紹介するとともに、歴史や文化のまちづくりや観光振興も念頭においた、新資料館の整備を行う。



地域と密着したテーマを活かす

- 高知県立歴史民俗資料館と岡豊城跡
- 高知県立坂本龍馬記念館と桂浜
- 橋原町立歴史民俗資料館と脱藩の道
- 安芸市立歴史民俗資料館と安芸城跡
- 中岡慎太郎記念館と野根山街道
- ジョン万ハウスと足摺岬・金剛福寺

基本構想策定事業

新資料館整備の基本的な方向性を検討し、その設置場所、新しい施設の整備方針及び機能について高知の歴史、文化を十分反映させた基本構想の策定業務を行う。

内容(検討項目)

- ①設置場所
- ②必要な機能
資料の保存継承、学術研究、教育活動、文化活動、展示、交流・ガイダンス機能
- ③管理運営体制(経営、学術研究の検討)
- ④施設整備方針
施設(規模、デザイン、レイアウト)／周辺(景観、誘客のしかけ、駐車場の確保)
- ⑤周辺のまちづくりや観光との連携(はりまや橋～高知城活性化検討会との連携)

新資料館整備に向けた考え方

未来への歴史継承

高知の歴史と人のゲートウェイ

総合的歴史展示

歴史・文化情報提供

歴史研究の拠点

中心市街地の観光拠点

首都圏の新たなアンテナショップの設置・運営

地産地消・外商課

目的

その1 量的拡大

首都圏における本県の認知度を高め、物産の販売拡大や観光客の増加につなげる

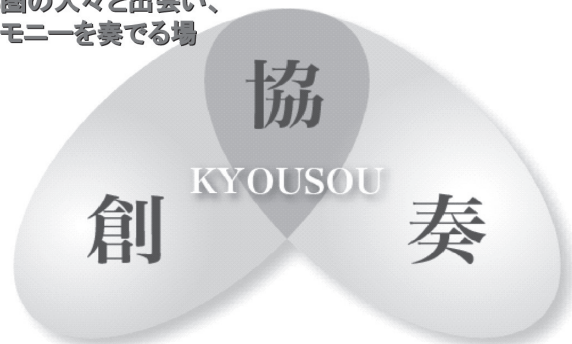
その2 質的向上

県内産業の体質強化、レベルアップ(全国の市場に打って出ることのできる商品・事業者の育成)につなげる

その3 人的交流の促進

高知の食文化や観光の情報発信拠点として首都圏と高知との人のつながりを形成する

官民の協働で、高知県の新しい価値や市場を創造する場
高知の「ヒト・モノ・コト」が首都圏の人々と出会い、ハーモニーを奏でる場



基本コンセプト(キーワード)

アンテナショップの特色

外商

業務筋を対象とする外商(仲介・あっせん)を基軸に、本県産品の販路開拓と販売拡大に挑戦

フィードバック

通常の販売活動やテストマーケティングを通じて、市場ニーズを把握してこれを県内事業者にフィードバックし、商品を磨き上げ

産業の底上げ

小規模な事業者が多いため、県外での営業に力を注ぐことが難しく、商品開発力も相対的に弱い県内事業者を支援することで、本県産業を底上げ

平成22年度当初予算 600,397千円

フロア	機能	イメージ
2階	飲食機能(飲食・イベント・情報発信スペース)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 著名なシェフとタイアップした試食会やフェア等を開催 ○ 美容と健康をアピール ○ 本県の食の豊かさ、魅力を五感に訴える創作料理
1階	物販機能(農産物、加工品等の食品)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品を中心に幅広い年齢層に訴求 ○ 各種催事を実施し、高知の商品と地域をアピール ○ 龍馬を活かした店づくりで幅広い層の集客を狙う
地下1階	物販機能(酒、工芸品、その他) 観光・ふるさと情報発信機能 商談コーナー、事務所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品以外の高知の産品を中心に展開 ○ 県産材など事業者向け商品も展示 ○ ライブラリースペース

○新アンテナショップ整備事業費	231,000
【債務負担行為	225,924】
・内装等工事・施工管理等	195,049
・プロモーション実施委託料	30,875
・事務費	5,076
○地産外商公社運営等事業費	369,397
・アンテナショップ賃借料(13か月分)	84,732
・地産外商公社運営費補助金	145,044
・ふるさと雇用再生アンテナショップ機能強化事業委託料	30,928
・地産外商公社出せん金	100,000
・事務費	8,693

地産外商商品ブラッシュアップ支援事業費補助金

地産地消・外商課

地産外商公社が公募するアンテナショップでのテストマーケティング商品への応募

テストマーケティング商品の選定

★商品の選定は、地産外商公社が定める基準に基づき実施(この時点で対象となる事業が選定される。)

1)総評(・公社の意見・商品改良の提案)、2)バイヤーの意見、3)消費者の意見、4)POSレジデータ

フィードバック

再チャレンジ

県内事業者(商品の磨き上げ)

自立

★補助金の申請に当たっては、外商公社の意見を求める。

補助金申請

補助金交付

(補助金の概要)【予算額 25,000千円】

①補助率:1/2以内、②補助限度額:1,000千円、③補助対象経費:ソフト事業(補助対象経費の例:商品を磨き上げるための経費(パッケージの改良、商品コンセプトづくり、市場調査等)、試作品を作成するための経費)、④補助先:事業実施主体への直接補助も可

※予算額の積算 $50件 \times 50\% \times 1,000千円 = 25,000千円$

※自力では商品の磨き上げが困難な事業者に、磨き上げに関する意識を高めてもらうとともに、アドバイザー事業と合わせて財政的な支援を行うことで、磨き上げのノウハウを身に付けてもらうこと等が目的であり、1事業者に対し1回のみ補助。



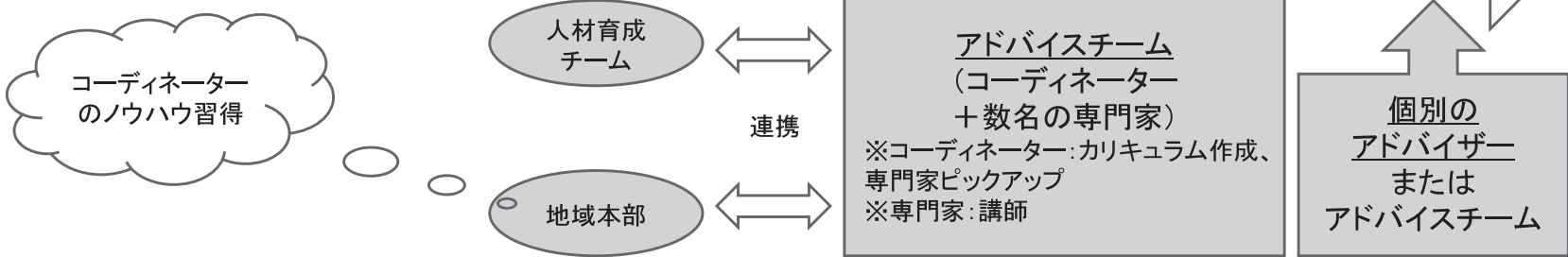
地域産業人材育成事業 ～目指せ！弥太郎 商人(あきんど)塾～の概要

地域づくり支援課
事業費:21,315千円

目的:地域アクションプランのさらなる拡充

	対象者	ゴールのイメージ	内容	4～7月	8～3月	次年度以降
ステップ1 (基礎編)	事業者、 県・市町村・ 団体職員等 全般	やる気のある 事業者へ	集合研修 ・意識付け ・ビジネスの基礎 ・コンセプトづくり <u>OFF-JT</u>	★ ★ ★ 全3回程度 シリーズで 県内3カ所開催	☆ ☆ ☆ 前期と同じ内容で 実施(調整中)	全5回程度 シリーズで開催 目標: ◎SWOT分析等を用いて事業の企画を行い、実現体制を築くことができるように ◎その企画内容を商品企画書としてあらわすことができるように ◎商品が自分で売れるように
	各会場: 30～50名 程度 計150名程度	地域人材の ネットワーク 化			中間報告会 交流会 成果報告会 検証	
ステップ2 (応用・実践編)	やる気のある 事業者等 (プロジェクト 関係者も 含む)	自ら考え 行動できる 事業者へ	集合研修 ・パッケージデザイン ・マーケティング ・SWOT分析 ・決算書の見方..... 個別実践研修 ・販売実習 ・プレゼンテーション <u>OJT+OFF-JT</u>		★ ★ ★ ★ ★ 個別の宿題等に加えて、カウンセリングも実施	

事業展開



航空路線維持対策事業費の概要イメージ

公共交通課

利用促進・路線認知度UPの為の活動

利用促進キャンペーン
時刻表広告掲載

3,102千円



県

着陸料支援

60,156千円

航空事業者

路線維持

連携・協力

利用者
増加

高知龍馬空港

負担金

3,000千円

旅行者

インセンティブ

高知県航空利用
促進協議会

助成事業

商品造成
送客

旅行会社

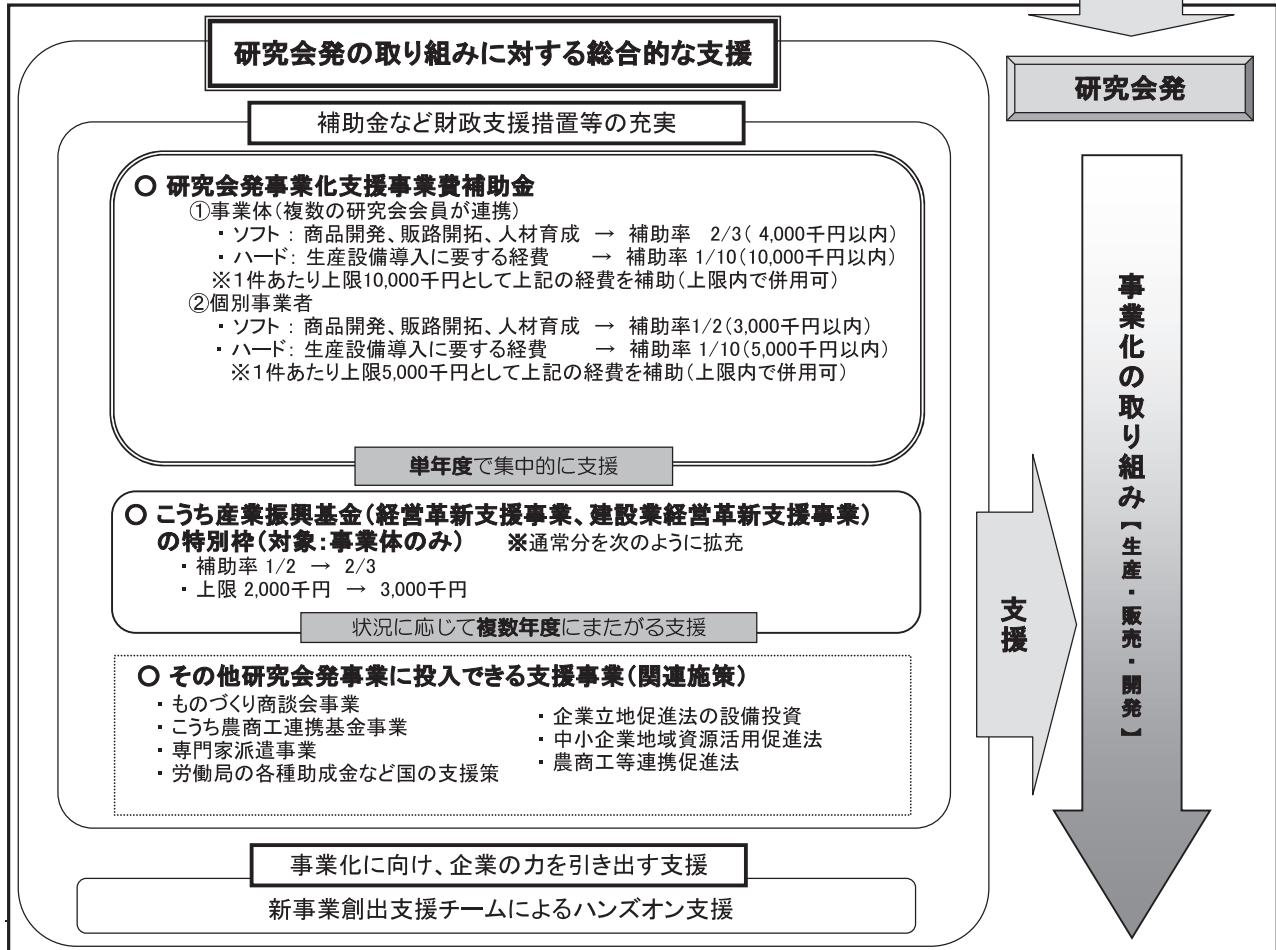
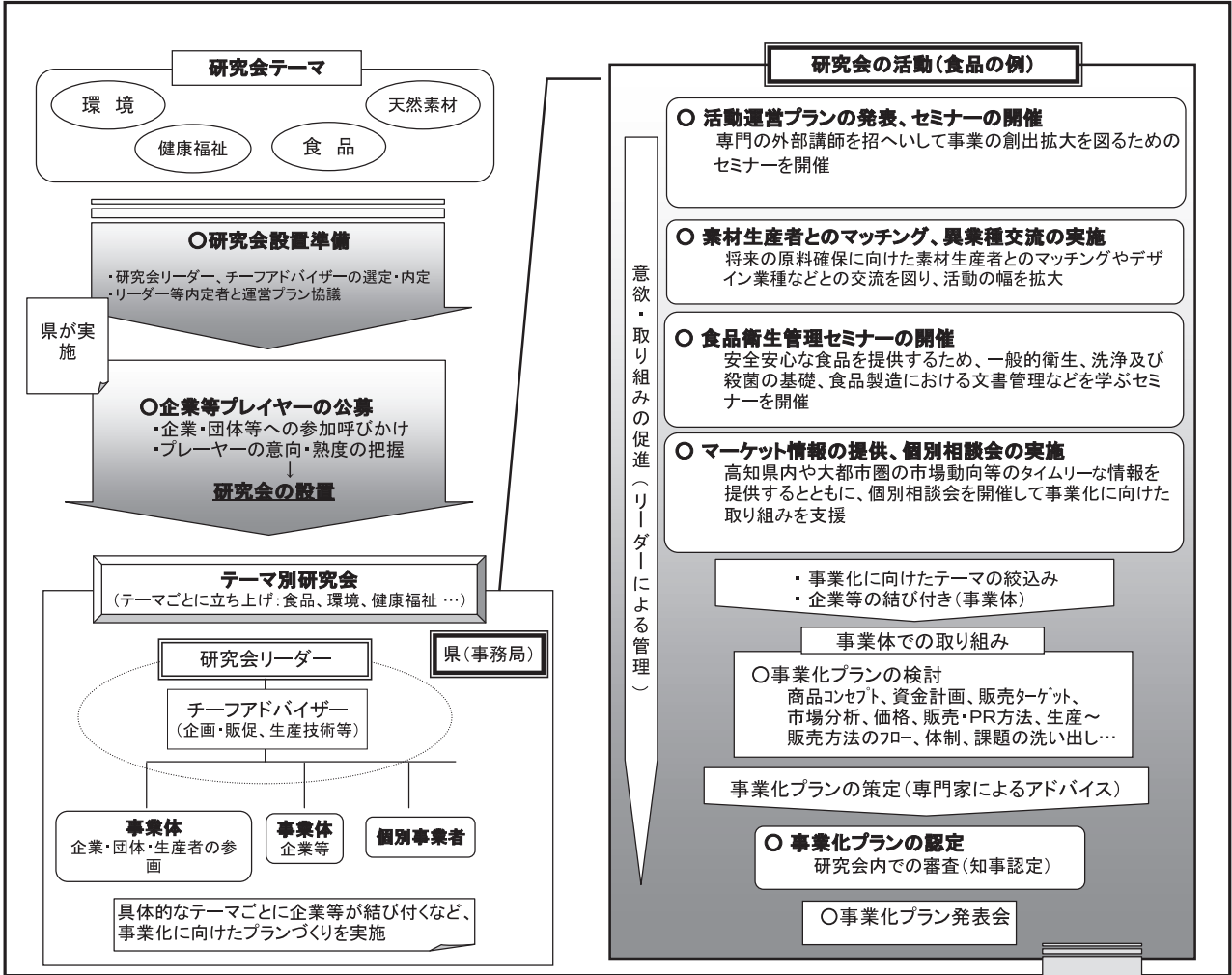
名古屋空港(小牧)
 ・エアポートウォーク、名古屋空港での利用
 促進キャンペーン(11月実施予定)
 ・中日ビルでのキャンペーン(年5回予定)
 ・自治体、航空事業者等との連携

福岡空港
 ・おもてなし課と連携した利用促進キャンペ
 ーン(9月実施予定)
 ・自治体、航空事業者等との連携

伊丹・羽田空港
 ・航空路線利用促進の高知県PR

◎航空路線の維持

高知県の産業振興



中核企業等育成支援会議

中核企業等育成支援事業
(工業振興課)
【予算額:42,527千円】

構成

商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、産業振興センター、四国銀行、高知銀行、高知県
(意思決定の迅速化を図るため各機関の実務責任者で構成)

目的

中核企業の育成
小規模事業者の連携

全ての産業支援機関が
総力を挙げて

中核企業の育成

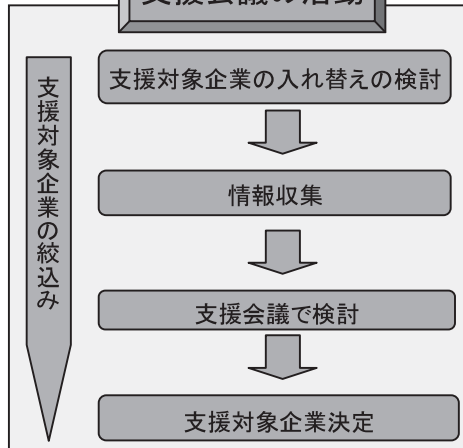
- 県内に本社機能を置く企業
 - 成長が見込まれる分野やニッチ分野で事業を展開している企業
 - 独自の技術や強みとして製品の開発力を独自に持っている企業
- 以上のような、特性や強みを持つ企業を対象にその育成を図る。

小規模事業者の連携

- 小規模事業者が連携して、技術・ノウハウの「強み」を有効に組み合わせたり、不足している部分を補わせることによって
- 新商品の開発又は生産
 - 新サービスの開発又は提供
 - 商品の新たな生産又は販売方式
- などの取組を行なう事業者を積極的に支援。

取組の考え方

支援会議の活動



○現状

県内製造業の約半分を小規模な製造業者が占め、地域製造業の牽引となる大規模事業者が少ない

産業技術人材の育成

製造技術や品質管理の研修により産業の担い手となる製造技術者を育成

専門分野の技術指導アドバイザーを企業へ派遣

経営力向上事業

○課題

- ・販路の拡大
- ・生産コストの削減

○内容

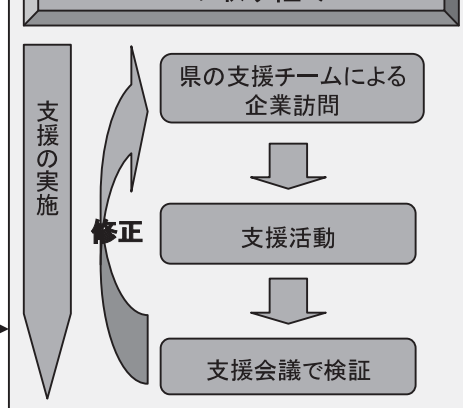
- ・県外企業とのビジネスマッチング事業による販路の拡大
- ・現場に密着した生産性向上対策の実施
(生産性 規模別全国比約60%~70%)

連携

中核企業等育成 アドバイザー

県の専任チームと連携して企業訪問と随時の相談対応を行い、企業の体質強化を図る。
(四国銀行・高知銀行へ委託)

支援対象企業(30社程度) への取組み



各種制度、事業の紹介、斡旋

市場調査、信用力調査など

ものづくり地産地消推進事業

(工業振興課)
【予算額:52,391千円】

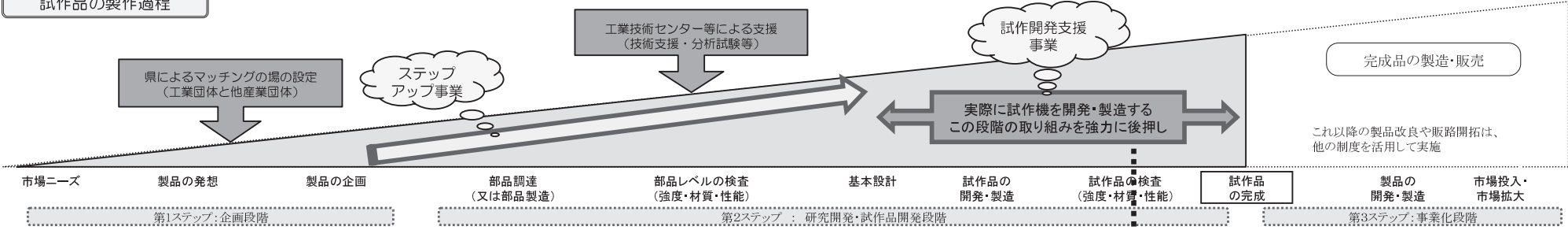
事業の目的

県内に需要がある機械や設備を県内で製造できる仕組みを構築するため、工業団体と他の産業団体とのマッチングを進めるとともに、ニーズに即した試作品の開発を支援し、ものづくりの地産地消を促進する。

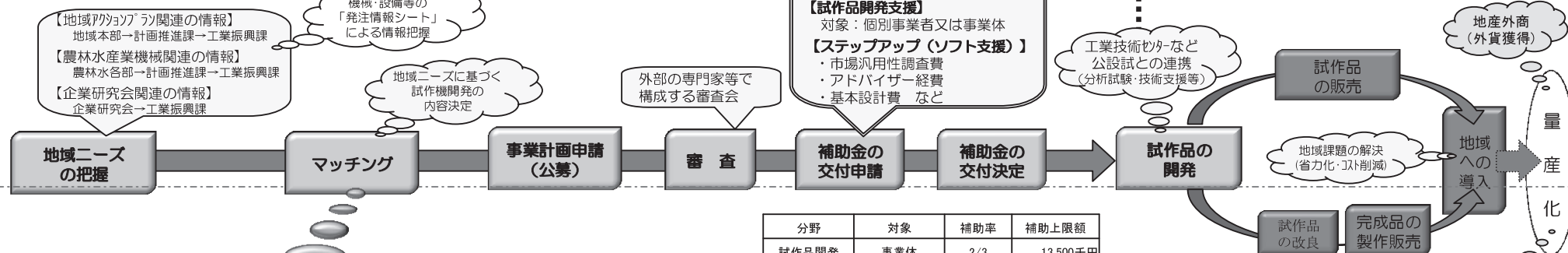
開発支援にあたっての視点

- ① 農林水産物を加工して付加価値を高めるための機械・装置の開発を支援 (例: 柑橘類の搾汁ライン、鮮度を長時間保持できる装置 など)
- ② 一次産業の生産・収穫作業等の省力化やコスト削減を図るための機械・装置の開発を支援 (例: 収穫機械の軽量化、燃費の低減を図る装置 など)

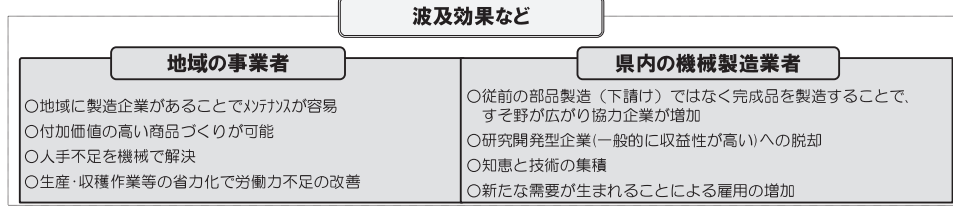
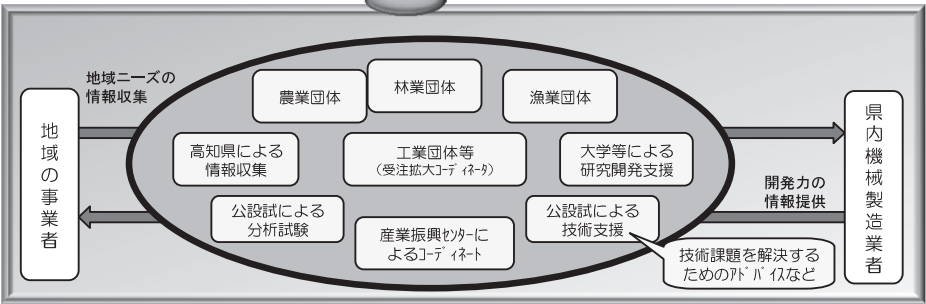
試作品の製作過程



試作品の開発支援の流れ



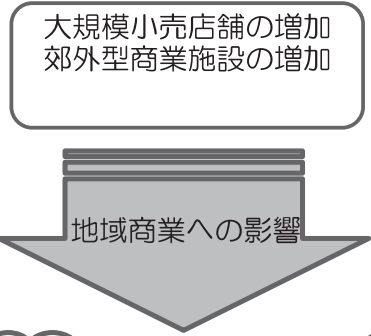
分野	対象	補助率	補助上限額
試作品開発	事業体	2/3	13,500千円
試作品開発	個別事業者	1/2	10,000千円
ステップアップ	個別事業者	1/2	1,000千円



こうち商業振興支援事業費補助金

(経営支援課)
【予算額：25,500千円】

商工団体等の行う商業の活性化事業や「商店街は観光資源」といった発想にたった商店街に人を呼び込むための事業を支援する。また、商店街の空き店舗を活用した新規出店などに対し、改装費の一部を支援する。



- ### こうち商業振興支援事業
- 商業活性化事業の補助対象者
 - ・商工団体等
 - ・商業者を含む4名以上のグループ
 - 空き店舗対策事業の補助対象者
 - ・個人、法人
 - ・商工団体等、NPO法人
 - 商業活性化事業
 - 補助率 1/2
 - 上限額 1,000千円
 - 例) 集客イベント・回遊性マップ等
 - 商業活性化モデル事業
 - 補助率 2/3
 - 上限額 1,000千円
 - 例) 農商工連携・モデル的事业
 - 新規創業者
 - 補助率 2/3
 - 上限額 1,500千円
 - 事業拡大者
 - 補助率 1/2
 - 上限額 1,000千円

商店街が地域のコミュニティの場として、地域住民の需要に応じた取り組みを行うことで、来街者の増加や空き店舗の減少に繋がり商店街の活性化が図られる。

